	事業名		消防施設等	等維持事業		事業類型	施設管理	実施 計画	0	区分	継続	
	予算科目		一般 会計	一般 会計 9 款		項	2 目	事業1	211	事業2	428	
Ī	担当	部署	部	消防	本部		課		消防網	 総務課		
	総合計	画体系	めざすまちの姿	3 安全で安心して暮	3 安全で安心して暮らせるまち 基本計画 3-④消防・救急体制を整え							
	事業の	O目的	目的 消防団の車両、市内消防施設の維持管理を実施することで、安全な基盤のあるまちづくりを進める。									
消防団車両、消防施設の維持管理を行う。 事業の概要 消火栓の保守点検の実施。 消火栓ホース格納箱、消防ホース等の設置・維持管理を行う。												

<u>Do</u>

事務事業評価 (単位:千円)

3 323 3 21			V 1 1— 1 1 1 1/
	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
	消防団車両、消防施設の維持管理	2,835	0
	(車両28台分車検・点検、詰所浄化槽7箇所の清掃・保守点検・法定検査、修理)		
	消火栓の保守点検(30基)	386	0
	消火栓ホース格納箱、消防ホース等の設置・維持管理	975	223
半成30 年度	(ホース格納箱:30基、車両用ホース:13本、消火栓用ホース:40本、管鎗:10本)		
T/X			
	その他(燃料代、車検諸費用他)	4,058	0
	合計	8,254	223

<u>Check</u>

חכ	<u>еск</u>												
				成果指標名(単位)	H29実績	H30目標	H30実績	R1目標					
	成果	指標											
		判	定	判定理由や課題、改善した点な	成果指標名(単位) H29実績 H30目標 H30実績 R1目標 判定理由や課題、改善した点など								
		必要性											
	事業の 評価	有効性											
		効率性											

<u>Action</u>

	事美	美費		左記についてのコメント					
今後の 方向性	維持	次年度	維持	消防団車両、消防施設及び消火栓等について、正常な稼動状況を維持するために、今後も事業を継続して実施していく必要がある。 また、劣化している詰所の外壁等の修理を、随時実施していく必要がある。					

(単位:千円)				
令和元年度	令和2年度	令和3年度		
24,319				

事業名		消防団拠点邡	拖設整備事業		事業類型	ハード	実施 計画	0	区分	継続
予算科目		一般 会計	9 款	1	項	2 目	事業1	212	事業2	430
担当	部署	部	消防	本部		課		消防約	総務課	
総合計	画体系	めざすまちの姿	3 安全で安心して暮	らせるまち	ı	基本計画	3-④消防	方・救急体制	りを整える	
事業の目的 災害時に消防団の活動の拠点となる詰所・器具庫を整備するとともに、災害活動を安全・迅速・確実に行えるように、車両等の 新整備を行う。										両等の更
事業 <i>0</i>)概要	消防団に配備してある	る可搬ポンプ、車両等	三更新する。						

<u>Do</u>

事務事業評価 (単位:千円)

サ1カデオ	COT IM		(+ <u>1</u> 1 1 1
	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
	消防団車両の更新(第4分団消防ポンプ自動車:1台、第1分団可搬運搬車:1台)	18,554	17,288
	消防団装備の更新(チェーンソー:1基)	77	50
平成30			
年度			
	その他	58	0
	合計	18,689	17,338

<u>Check</u>

	成果指標		成果指標名(単位)	H29実績	H30目標	H30実績	R1目標		
成果									
	判	定	判定理由や課題、改善した点など						
+ ** o	必要性								
事業の評価	有効性								
	効率性								

Action

	事美			左記についてのコメント
今後の 方向性	維持	次年度	維持	消防団車両等について更新計画に基づき更新を実施していく。また、今後の消防団の在り方に ついての検討結果を更新計画に反映させていく。

 実施計画
 (単位:千円)

 事業内容
 令和元年度
 令和2年度
 令和3年度

 消防団車両の更新 消防団装備の更新
 (関係)
 (関係)

事業名		通信指令装置•消防	ī救急無線整備事業		事業類型	施設管理	実施 計画	0	区分	継続			
予算	科目	一般 会計	9 款	1	項	6 目	事業1	222	事業2	451			
担当	部署	部	消防	本部		課		警					
総合計	画体系	めざすまちの姿	3 安全で安心して暮	らせるまち									
事業の	事業の目的 119番通報の受付、出動隊の管理、出動指令放送、各種災害情報や気象情報の受信伝達等を常に正常に行えるようにするため、通信指令装置及び消防救急無線装備の維持管理を行う。									こするため			
①119番通報等、災害情報の受信 ②災害情報に応じた出動指令の発信 ③災害時等における車両動態管理、管理機関への連絡調整 ④住基データ・地図情報等の地図検索装置の更新 データ取り込み ⑤気象観測等の実施 ⑥通信指令装置、消防救急無線の維持管理													

<u>Do</u>

事務事業評価 (単位:千円)

1227 1000										
	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源							
	119番通報等、災害情報の受信 2.978件	25,248	0							
	災害情報に応じた出動指令の発信									
	災害時等における車両動態管理、管理機関への連絡調整									
	住基データ・地図情報等の地図検索装置の更新 データ取り込み 5,353件									
平成30 年度	気象観測等の実施									
一汉	通信指令装置、消防救急無線の維持管理									
	その他	675	0							
	合計	25,923	0							

<u>Check</u>

	成果指標		成果指標名(単位)	H29実績	H30目標	H30実績	R1目標		
成果									
	判	定	判定理由や課題、改善した点など						
+ ** o	必要性								
事業の評価	有効性								
	効率性								

<u>Action</u>

事業費					左記についてのコメント
	今後の 方向性	維持	次年度	維持	当事業は消防、救急、救助等の災害対応全般業務を行うために必須なものである。また、各装置は24時間365日無停止が要求されるものであることから事業の必要性は非常に高い。

実施計画 (単位:千円)

天旭 計画			(单位:十円)
事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
①119番通報等、災害情報の受信			
災害情報に応じた出動車両の選択や出動指令の放送			
署所や出動車両に各種災害情報や気象情報等の伝達			
気象の観測及び気象警報・注意報等の受信、伝達			
通信指令装置、消防救急デジタル無線の維持管理			
②NET119緊急通報システム、外国語緊急通報等電話通訳導入			
③無線設備法定検査			
④気象観測装置検定			
⑤通信指令装置、消防救急デジタル無線装置の部分更新			
3か年の合計事業費		168,700	

事業名		救急指導者	皆育成事業		事業類型	ソフト	実施 計画	0	区分	継続
予算	科目	一般 会計	9 款	1	項	6 目	事業1	223	事業2	466
担当	部署	部	消防	本部		課		警隊	 方課	
総合計画体系		めざすまちの姿	3 安全で安心して暮	らせるまち		基本計画	3-④消防	3-④消防・救急体制を整える		
事業の目的 事業の目的 ①消防団員等を応急手当指導員に育成したり、事業所等の職員を応急手当普及員に育成することにより、市民等への救急を の普及を強化する。 ②市民等への救急車の適正利用及び応急処置の普及啓発を図る。							対急処置			
事業の		①応急手当普及啓発								

<u>Do</u>

事務事業評価 (単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
	①応急手当教室49回、普通救命講習 I 20回、普通救命講習 II 2回、普通救命講習 II 5回、	555	141
	救命入門コース8回 上級救命講習2回 合計86回(2,888名)受講		
	市内店舗5箇所店頭広報		
— -b	市立湖西病院看護師(1名)、浜名病院看護師(1名)		
平成30 年度	応急手当指導員講習1回(1名)受講		
	応急手当普及員講習1回(20名)、応急手当普及員再講習3回(20名)受講		
	合計	555	141

<u>Check</u>

			成果指標名(単位)	H29実績	H30目標	H30実績	R1目標			
成果	:指標	平成29年 平成30年	度まで応急手当普及員講習受講者数(人) 度以降各種講習等受講者数(人)	3,447	3,500	2,899	3,500			
	判	定	判定理由や課題、改善した点など							
+ # 0	必要性	Α	傷病者が医療機関に到着するまでの処置が傷病者の予後を決定づける大させなければ救命に繋げることはできない。特に心肺停止状態や窒息といっ命し、社会復帰に導くためには救命の連鎖が必要である。	きな因子となった生命の危	なり、必要な も機的状態	に陥った傷	療を連鎖 病者を救			
事業の評価	有効性	Α	事業所における応急手当の普及啓発活動の推進により、不特定多数の来記る。	方者や従業.	員などの安	全確保が図	られてい			
	効率性	А	受講者の時間的負担を軽減するために、e-ラーニングによる分割講習を導 講習内容が区分されている。	入している。	救命講習	は到達目標	に応じて			

Action

	事業			左記についてのコメント
今後の 方向性	維持	次年度	維持	事業所へ出向き、応急手当普及啓発を行うとともに、普及員講習の受講を促す。

 実施計画
 (単位:千円)

 事業内容
 令和元年度
 令和2年度
 令和3年度

 ①応急手当普及啓発活動
 (国本の会計事業費)
 1,706

	事業名		消防車両	両整備事業 事業			施設管理	実施 計画	0	区分	継続	
	予算	科目	一般 会計	9 款	1	項	6 目	事業1	223	事業2	454	
	担当	部署	部	消防	本部		課		警防課			
	総合計画体系		めざすまちの姿	3 安全で安心して暮	3 安全で安心して暮らせるまち			3-④消防	3-④消防・救急体制を整える			
	事業の	事業の目的 火災・地震等の災害に対し、市民が安心して生活できる災害防止策として、最新の資機材を装備した消防車両を配備し、消防力の充実強化を図る。								し、消防力		
消防車両は、走行距離・経過年数・使用頻度・老朽化の程度等を配慮した更新計画に基づき整備し、安全走行と計画的な出動体制を確保する。 【令和元年度】 ①消防ポンプ自動車の更新 令和2年度に更新する湖西72号車(資材運搬車)の仕様の検討・調整 最新の消防車両及び資機材の研究								的な出動				

<u>Do</u>

事務事業評価 (単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
	① 消防指揮車の更新	15,843	11,806
	次年度更新予定の消防ポンプ自動車の仕様の検討		
	最新の消防車両及び資機材の研究		
—			
平成30 年度			
'/~			
	その他		
	合計	15,843	11,806

<u>Check</u>

			成果指標名(単位)	H29実績	H30目標	H30実績	R1目標			
成果	指標									
	判	定	判定理由や課題、改善した点など							
* ***	必要性									
事業の 評価	有効性									
	効率性									

Action

	事	業費		左記についてのコメント
今後の 方向性	維持	次年度	維持	最新の資機材を装備した消防車両を配備し、消防力の充実強化を図る。

事業名		公用車維	公用車維持管理費			施設管理	実施 計画	0	区分	継続
予算	科目	一般 会計	9款 1		項	6 目	事業1	224	事業2	469
担当	部署	部	消防	本部		課		消队	方署	
総合計画体系		めざすまちの姿	3 安全で安心して暮	らせるまち		基本計画	3-④消防・救急体制を整える			
事業の	O目的	緊急車両等を適正に維持管理することにより、常に消防力の充実を図る。								
事業 <i>0</i>)概要	①消防車両(一般車) ②消防車両の特殊装 ③故障・損傷に伴う修	両含む)の燃料費、法 備の維持管理 繕	定点検代等	÷					

<u>Do</u>

事務事業評価 (単位:千円)

3 - 323 -3 - 214	the limit		(— I— · I I I I I
	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
	①消防車両の燃料費	3,240	0
	②消防車両の法定点検等(点検代、車検代行手数料、保険代、重量税)延べ59台	4,143	0
	③消防車両の故障等修繕(21件)	662	0
	④廃油処理委託	26	0
平成30 年度	⑤備品の購入(低水位ストレーナー、自動車用消火器)	65	0
T/X	⑥車両の売却(指揮車)	0	370
	その他	162	0
	合計	8,298	370

<u>Check</u>

n	<u>eck</u>									
	成果指標			成果指標名(単位)	H29実績	H30目標	H30実績	R1目標		
		判定		判定理由や課題、改善した点など						
	事業の評価	必要性								
		有効性								
		効率性								

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の 方向性	維持	次年度	維持	日本消防検定協会「消防用車両の安全基準について」に基づき緊急車両等を適正に維持管理することにより、常に消防力の充実を図る。
実施計画	(単位:千円)			

 実施計画
 (単位:千円)

 事業内容
 令和元年度
 令和2年度
 令和3年度

 ①消防車両の燃料費
 ②消防車両の法定点検等(点検代、車検代行手数料、保険代、重量税)延べ54台
 ③廃油処理委託

 ④備品の購入(自動車用消火器)
 ⑤車両の売却(指揮車)

 ⑤車両の売却(指揮車)
 24,795

事業名		火災予防啓発事業費			事業類型	ソフト	実施 計画	0	区分	継続	
予算	. 科目	一般 会計	9款 1項		6 目	事業1	221	事業2	450		
担当	部署	部	消防本部		課	予防課					
総合計	·画体系	めざすまちの姿	3 安全で安心して暮	心して暮らせるまち		基本計画	3-④消防・救急体制を整える				
事業の目的		幼年から高齢者まで市民の火災予防の意識向上を図る。									
事業の	の概要	①住宅用火災警報器 ②防災、防火管理講 ③幼年消防クラブの ④少年消防クラブの	習会の開催 舌動								

<u>Do</u>

事務事業評価 (単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
	住宅用火災警報器設置推進	16	0
	防災、防火管理講習会の開催	249	0
	幼年消防クラブの活動 市内5園155人、結成式、花火教室、消防署見学、防火ポスター	510	0
	少年消防クラブの活動 市内6小学校 編成式、防火教室、消防署見学、防火ポスター	170	0
平成30 年度			
~			
	その他	78	0
	合計	1,023	0

Check

	成果指標		成果指標名(単位) H29実績 H30目標 H30実績 R1目							
成果			こおける死者数(人)	0	0	0	0			
	判定		判定理由や課題、改善した点など							
	必要性	А	消防の目的達成のために必要不可欠。							
事業の評価	有効性	Α	幼少年から高齢者まで年代に応じた事業内容により目的達成に非常に有効	である。						
	効率性	Α	費用対効果を考慮し、様々な工夫を凝らしており効率性は良い。							

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の 方向性	維持	次年度	維持	消防の目的を達成するために必要であり、一定の効果を得ている事業であるため今後も引き続き継続、維 持の事業である。

 実施計画
 (単位:千円)

 事業内容
 令和元年度
 令和2年度
 令和3年度

 住宅用火災警報器設置推進
 少年消防クラブの活動
 少年消防クラブの活動
 3か年の合計事業費
 3,061